

Fureai

Fujita Related All Information

2024 1.1

Vol.
298

挑戦を応援できる
職場を目指して

【社長より年頭の挨拶】

【年男・年女 大集合!!】
辰年生まれ46名の今年の抱負

【各種報告】
2023年度上期 優秀小集団
創業131周年記念 全社旅行・懇親会 in 華鳳

2024 年頭の挨拶

新年にあたりご挨拶を申し上げます。

最初に、元日に発生した「令和6年能登半島地震」で被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞いを申し上げます。また、余震の続くなか休日にもかかわらず、社員の安否や会社資産の状況確認、復旧措置にご尽力くださった皆さんに、心より感謝申し上げます。これからは構内の片づけや被害箇所の復旧をお願いします。これからは構内の片づけや被害箇所の復旧をお願いします。これからは構内の片づけや被害箇所の復旧をお願いします。

昨年は、海外ではインフレの継続に加えて、中国経済の成長鈍化によって世界経済全体の減速を感じた年となりました。日本ではグローバルワーク明けから新型ウイルスが5類に分類され、以前の行動様式に戻っていった結果、特にサービス業を中心に回復が進みました。鉄鋼業界では、自動車業界の復調があったものの物価高による個人消費の低迷が大きく、鉄鋼需要としてもマーケット全体が落ち込んだ年となりました。そんな中でも藤田金属はここまで、取扱数量は全体需要に比例して減少しつつも、電気代をはじめとした諸コストの転嫁活動と純加工賃の交渉を根気強く進めてもらった結果、収益面では予算比ほぼ100%と順調な業績を残しています。社員の皆さんの日頃の努力の賜物だと感謝しています。

個人的な話になってしまいますが、息子が生まれて1年が経過しました。最近、実感した出来事で皆さんにも意識してほしい気づきがあったので、そのお話をさせていただきます。

ここ最近、息子は日に日にできることが増えていき、人間の成長速度の凄まじさを実感しています。よく考えると、できることが増えていく過程で彼は必ず何度も失敗をしています。つかまり立ちを例にすると、一人では支えをうまく手で掴めなかったり、支えを掴んで立てたとしても足がおぼつかずに倒れてしまうこともあります。私たち親は、最初は

腰を支えてあげたり、一人でチャレンジできるようになつてからは危険な転び方をしないか近くで見守ったりとサポートをします。何かができるようになる、すなわち成長するには失敗は付きものですが、取り返しのつかない失敗をしないようにする周りのサポートも大事だということがよく分かりました。

この気づきは自分の子どもに限らないことだと思っていて、成長しようとしている人、または企業団体にはそのチャレンジの過程で、ある程度失敗は付きものだと思えますし、その失敗から勉強することがたくさんあります。加えて、子どもにとつての親や祖父母の存在のように、その成長を願ってサポートしてくれる周りの存在が必要不可欠です。ただし、親子の関係性と職場の同僚との関係性は必ずしも同じではなく、成長しようとする側も、周囲から応援してもらえないような立ち振る舞いを意識して、人間関係を構築していないと大人の集団の中ではやっていけません。

申し上げたいことは、職場の仲間で何かにチャレンジしている人がいたら、積極的に応援してあげてほしいということ、それに加え、チャレンジする側の人も日頃の職場での人間関係を大事にしてほしいということです。

事業部・支店・個人でも、中期経営計画やこれから策定する来期予算で、新たな課題に取り組む方々がいると思いますが、一人でも多くの皆さんが何か新しいことに挑戦し、それを周りが応援できるように職場が増えることを私は心から願っています。会社としても、薄板の不在在庫ECPプラットフォームサービス「テンテコ」や、新潟古町の古民家再生事業の合弁会社「ふるまじ樽拳」など、昨年新しく会社を設立し、社会・地域課題の解決にチャレンジしていきますので、注目していただきたいと思います。

最後に、年末時点で今年度は5件の災害が発生しています。例年に比べると減少傾向にあるのは良いことですが、発生件数をゼロにできるよう、日々の安全パトロールやKY活動に力を入れて取り組んでいきましょう。

以上、本年も皆さんとご家族にとつて健康で幸せな一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。

2024年1月5日



代表取締役社長

今井 幹太

創業
131周年
記念

全社旅行・懇親会 in 華鳳

2023年11月3・4日に、創業131周年記念 全社旅行・懇親会を開催しました。
前回の2016年から7年ぶりの開催でもあり、大いに盛り上がったのでその様子をご紹介します。



今井社長の挨拶で懇親会がスタート

131年会社が続けているということは、常に社会から必要とされ続けてきたということです。会社の基盤をより強固にし、これからも社会に貢献し続ける会社にしていきたいので、皆さんも一緒に走っていただきたい。私と同世代の若手はもちろん、ベテランの皆さんの力も必要です。可能な限り後進に知見を伝え、今後の藤田金属を強くしていただきたい。そして藤田金属を選んでいただき、働き続け、時間を共に過ごせることに感謝し、皆さんに入社して良かったと思われる会社、組織にしていきたいと思えます。

大抽選会も盛り上がりました!

創業131周年になぞらえて、総額131万円分の豪華景品が当たる大抽選会を実施しました。社長賞としてコンテッサセコンダシリーズのオフィスチェア、常務賞として千疋屋のフルーツセット1年分のほか、iPadやルンバなどの多くの景品が用意されました。社長賞、常務賞の抽選時にはマリオとルイージに扮した今井ブラザーズが登場しました。



今井ブラザーズ
登場!

最後は、今井常務からの締め言葉で終了

この1日を全力で楽しんでくれていれば嬉しいです。5年前、右も左も分からない社長と僕を快く受け入れてくれた皆さんに、本当に感謝しています。皆さんが支えてくださったからこそ僕は今ここに立てています。これからも揺らぐことなく10年、20年、30年と会社を発展させ続けていきたい。ぜひ、皆さんのお力を貸してください。



撮影写真を
共有します

今回撮影した写真を共有します。SharePointに写真データを保存しました。
社内のパソコンよりご覧いただけます。

【保存場所】sharepoint > 全社文書 > 写真共有 > 231103_全社旅行写真

優秀小集団

- 1 活動選定の経緯と概要
- 2 苦労したこと、
苦労に対して工夫したこと
- 3 活動の成果

長岡支店／事務所

配車表のルール明確化と問題点の解決

1 日頃から使っている配車表の入力ルールを、曖昧なまま使用している部分がありました。また、配車表の作成を手作業で行っていましたが、ルールを明確にするため、RPA（自動化）を導入することによって作業時間の短縮ができるのではないかと考え、入力ルールの明確化と配車表の作成時間短縮について取り組むことにしました。

2 工夫した点は、実際に配車表を見て配達する運転手の方にも打ち合わせに参加してもらい、要望のヒアリングを行ったことです。また、配車表の表記方法を変更しました。RPAによる自動化に関しては、情報システムチームの皆さんにもご協力をいただきました。メンバー以外の方も巻き込みながら活動を行いました。

3 配車表作成時間の計測を行った結果、平均47分だった作成時間が平均31分となり、作業時間を34%削減することができました。また、RPA（自動化）を活用したことによって、担当者不在時でも誰もが簡単に作業できるようになりました。そして、手作業によるヒューマンエラーがなくなることも考えられます。

評価ポイント

配車表に改善部分があると感じていながら、問題点の解決に取り組みずじまりのままでしたが、この活動で改善したことにより効果を出すことができました。指示表の出力をRPAにより自動化したことで時間短縮ができ、何より誤指示がなくなったことで配車業務の精度が上がりました。